

令和元年6月三田市議会定例会(第351回)一般質問発言通告一覧

(第2日・6月18日 個人質問)

5番 幸田 安司 <一問一答>

- 1 三田のまちづくりと今後の計画について
 - (1) 各商店街の活性化について。
 - (2) 三田駅前Cブロック地区再開発事業の進捗状況と公共施設の導入について。
 - (3) 三田まつり、三田あきんどまつりへの今後の市の対応と考え方について。
 - (4) 三田の商店街や繁華街等における市の防犯カメラの設置について。
- 2 高齢者の自動車運転について
 - (1) 高齢者の自動車運転の安全対策について。
 - (2) 高齢者運転免許証自主返納サポート制度について。

6番 佐々木 智文 <一問一答>

- 1 三輪地区の市民センター設置について
 - (1) 地域コミュニティの形成、またまちづくり協議会等の活発な活動場所の提供。
- 2 視覚障害者への支援について
 - (1) 音声化して提供できるシステムの構築。
 - (2) AI視覚支援デバイスの日常生活用具の追加。
- 3 高齢者の運転免許証返納に伴う農村地域での移動手段について
 - (1) 社会実証実験の結果を踏まえての今後の事業への展開。
- 4 文化振興について
 - (1) 市民が気軽に郷の音ホールが使用できるクラウドファンディングを用いた文化振興。
- 5 ウッディタウン中央公園の「風の塔」について
 - (1) 三田市のシンボリックなランドマークとしての利用。

15番 美藤 和広 <一問一答>

- 1 各団体との連携による持続可能なまちづくりについて
 - (1) 交通課題から見たまちづくり。
 - (2) 地域活性化から見たまちづくり。
 - (3) 若者の三田定着から見たまちづくり。
 - (4) 広域的な医療圏域から見た市民病院のあり方。
- 2 キャッシュレス社会と市役所のICT化について
 - (1) 支払いの電子決済。
 - (2) 認証システム。
 - (3) 書類の電子化。
 - (4) 電子化書類の共有管理と資料公開。
 - (5) 書類の電子決裁。
 - (6) AIやRPAの実業務への取り組み。

10番 佐貫 尚子 <一問一答>

- 1 地場産レストランの進捗について
 - (1) 市が考えている地域の活性化や新たな魅力創出に繋がる地場産レストラン構想はどのようなものか伺う。
 - (2) サウンディング調査結果（概要）公表後の、スケジュールについて伺う。
- 2 北摂中央3号線歩道における自転車通行の安全策について
 - (1) 通勤、通学時に通行が多く、特に市民病院前バス停付近は接触事故もあり危険と感じているが、市の考えを伺う。
 - (2) 市の自転車事故に備えた自転車保険の加入率はどうか、また加入促進について伺う。
- 3 子どもの未来支援事業について
 - (1) 事業については、地域における子どもの居場所づくり活動への支援と聞いているが、市内の現況について伺う。
 - (2) 居場所については、ニーズの把握はされているのか伺う。
 - (3) 居場所を求める子供たちの把握、周知、啓発について伺う。

19番 平野 菅子 <一問一答>

- 1 三田市立学校再編計画の今後の取り組みについて
 - (1) 今後の取り組み方針が出されたが長坂・藍中学校の再編については再編案を取り下げたいとの報告があったがそこに至る経緯について伺う。
 - (2) 長坂中学校区の住民には全く説明がされることなく今回の報告となったが、余りに性急ではないかと考える。説明がなされなかった理由と今後の長坂・藍中学校区それぞれの協議の進め方について伺う。
- 2 三田市公共施設マネジメント推進に向けた基本方針から、公共施設の地域イニシアチブの考えについて
 - (1) 地域イニシアチブについて市・地域双方にメリットがあるとお考えか見解を伺う。
 - (2) 地域の費用負担や管理等についての制度設計はどのようなになっているのかを伺う。
 - (3) 地域への十分な説明はされているのか、またその提案状況について伺う。
- 3 災害弱者の支援について
 - (1) 避難行動要支援者名簿の状況把握はどのようにされているのか。また個別支援計画策定にあたっては名簿の約半数が不同意書提出者となっているが、これではきめ細かな支援ができないと考える。同意がいただける取り組みについて伺う。
 - (2) 個別支援計画に向けた取り組みについて。
 - (ア) 「三田市障害者共生協議会の報告書」に基づき障害者の個別支援計画の策定がなされるようだが、災害弱者全体の個別支援計画が必要であると考えが見解を伺う。
 - (イ) 個別支援計画策定にあたり市内の連携や体制について。
 - (ウ) 策定については自治会・まちづくり協議会や防災組織等の関係機関へどのように説明し、協力をいただき実行へと進めていくのかを伺う。

9番 長尾 明憲 <一問一答>

1 子どもの医療費の考え方について

- (1) 4月13日付の日本経済新聞で市長発言として掲載されている「無料だからとモラルハザード的な受診があったのではないか」という発言の真意について伺う。
- (2) 保護者の収入で子どもの受ける医療に差がつかないようにするためにも、子ども医療費の中学卒業まで完全無料の復活を求める。

2 三田市民病院の統合問題について

- (1) 審議会の答申が出たが、どのように今後の方向性を考えていくのか。経営面だけの話ではなく、市民病院が公立病院として果たしている役割について、市民を交えた議論をしていかなければならないと考えるが、市の見解を伺う。
- (2) 神戸市会、兵庫県議会でも三田市民病院と済生会兵庫県病院が協議中であることは明らかにされている。なぜ、協議相手が誰であるかすら市からの発言がないのか。正確な情報を市民に明らかにしたうえで協議をすべきと考えるが、市の見解を伺う。
- (3) 三田市まちづくり基本条例にうたわれている「企画立案段階からの市民参加」との関係をどのように考えているのか、市の見解を伺う。
- (4) この間、「広域化」「広域的な視野で」等の発言がなされているが、市の考える「広域」とはどのようなものか、市の見解を伺う。

2番 小杉 崇浩 <一問一答>

1 シビックプライドの醸成について

- (1) 広報戦略（プロモーション）の専門部門の設置および外部専門人材の活用について。
- (2) 職員の意識改革のためのシビックプライド研修の実施について。
- (3) 学生（高校生・大学生）が主体のフューチャーセンターの設置について。

2 共生社会の実現について

- (1) 「誰も孤立させない共生のまち」宣言について。
- (2) 地域共生サポーターの育成について。
- (3) 三田市障害者共生条例の普及啓発について。